

看護師同乗通学バス望む

養護学校 保護者の要望聞く

日本共産党滋賀県議団の節木三千代、藤井三恵子両県議、立入善治、松井圭子両湖南市議は16日、長女の珠世さん（13）を県立三雲養護学校中学部に通わせる絹川崇子さん（52）宅を訪れ、医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援について

滋賀で党県議ら

要望を聞きました。

節木氏らは、昏睡（こんすい）状態で人工呼吸器を外せない珠世さんの通学前の体調チェック、同乗する看護師やヘルパーが福祉有償運送車両に乗車させる時の様子などを視察しました。

乗車する珠世さん（左端）を見る（右から）節木、藤井、立入、松井の各氏＝16日、滋賀県湖南市



看護師の同乗は県の実証研究として行われているも

ので、通常は母親が同乗しています。

絹川さんは「学校に行くことが分かると、子どもはうれしい表情になります。実証研究に終わらせることなく、看護師が乗った小型バスを走らせてほしい」と切実に訴えました。

節木氏は「重度の障がい児にとって学校に行き、学ぶことがいかに大切かを知りました。通学を保障するため、県教育委員会が責任を果たすことが求められています」と話します。